

令和6年度 第6回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

- 日 時：令和6年10月16日（水）午後1時30分～午後3時30分
■場 所：府中駅北第2庁舎 6階小打合せ室
■出 席：（敬称略）
（委員）（5名）石川 伊智郎、浅田 多津子、杉村 康之、谷田部 義則、室
英治
（事務局）（2名）熊谷 一茂、町田 拓未

- 欠 席：
（委員）（2名）塚原 仁、渡邊 妙子
（事務局）（2名）柳下 豊宏、田口 敦

■議 事

1. 報告

① 令和6年度 第5回検討調整会議事録・・・内容了承。

② 各部会の報告・・・

・学習部会：直近では10月8日に部会を実施。主に9月11日の第3回かんきょう塾（バス見学）の振り返りと10月12日の第4回（植物調査）開催に向けた確認などを行った。また、前回検討調整会の内容を共有し、メンバーからは内容の似た会議体（かんきょう塾ネット定例会・学習部会・検討調整会）が並立していることへの対処を求める声が出ていた。次回は11月12日開催予定。⇒現在の運営体制について確認したい。⇒部会長・副部会長が一気に不在となったため、今年度に限り藤間サポーターが部会長代理として活動いただけることになっている。

・広報部会：前回8月29日（木）に実施以降開催はしていないが、前回検討調整会の内容を各メンバーにメールで共有し意見交換を行っている。本日の検討調整会後に次回開催予定。センターだより紙面発行に係る事務作業の洗い出しにテーマを絞って行う。⇒検討調整会委員が本日の部会に同席することは可能か。⇒本日はアイデア出し・方針検討というよりは実際の作業に係る確認が主な内容になるため、今後の広報活動に積極的に関わる意思がある方のみご同席いただきたい。

③ 今年度各種事業の進捗について・・・事業一覧を共有。

・春の親子かんきょう塾が未定となっている。仮に3月実施でバスを使用する場合は年内に日程・行先を確定させる必要があることを学習部会のメンバーに伝えている。

・環境まつり・協働まつりについて⇒2. 議事の①へ。

④ その他・・・特になし。

2. 議事

① 環境まつり・協働まつりの展示用パネルについて

・6月17日の第3回検討調整会にて今年度の環境まつりにはパネル展示のみで出展することが決定されたが、展示内容について考えている委員の方はおられるか。特にこれというものが無ければ昨年度作ったA1版のセンター紹介パネルに手直しを加えてメインの展示とすることを考えている。内容やデザインのアイデアがある方は提案用紙に文章や絵を書いて10月31日までに事務局へ提出いただきたい。なお、この件に関しては各部会メンバーへも協力依頼する。

・パネルのアイデアではないが、ホームページをPRするために実際の画面をディスプレイなどに表示させて展示したらどうか。⇒保全センターのパソコンを持参すればできるかもしれない。⇒電源や盗難対策の問題あり。開催時間内であれば充電が持つか？ワイヤーロックも持参するか？

・使える道具の条件を確認したい。⇒2m四方のテント1張り、タテ1間のパネル2枚、長机1脚（、イス2脚）。

② 各部会の今後の運営について（前回からの続き）

・前回ご意見があった組織図について、環境基本計画から計画推進体制図を抜粋した。図の中に円を書き加えさせていただいたが、検討調整会はサポーターの代表者による会議体である。保全センターはサポーターによって構成され、市から独立した連携組織であることを改めてご認識いただきたい。⇒もともと検討調整会は各サポーター団体や様々な企業の代表が委員として参加して情報交換や事業のアイデア出しなどを行うことを目的としてつくられたが、現状は限られた一部の団体からの参加にとどまっている。（かんきょう塾ネット代表枠として検討調整会に出ている人も現状いないことになっている。）

・かんきょう塾ネットがきちんと機能すれば「≡学習部会」といえるのではないか。

・塚原仁さんがかんきょう塾ネット・学習部会・検討調整会の長を兼ねていたため各会議間で情報のやり取りがスムーズに行われていた面がある。このたびの休養によって体制の在り方に関する課題が一気に表面化した形である。

・事務局としては前回の議論や学習部会からの意見を踏まえたうえで部会の解散・検討調整会への一本化を提案したい。将来的にセンターをより発展させていくことを目指すため、現状の規模でも活動が継続できるようにするために組織を一度縮小させる必要があると考える。かんきょう塾などの事業の内容を塾ネットで検討し取り纏めてもらい、塾ネットの代表者に検討調整会の場で提案してもらおう形にし、同時に様々な団体の方に検討調整会に入ってもらい多様な意見を反映できるようにしたい。また、塾ネットの会合をおも

やの打合せスペースなどで行ってもらえば、必要に応じて事務局と連携がとれると考えられる。このような体制整理ができれば特にデメリットなく事業を継続できるのではないか。

- ・現学習部会メンバーとしては部会がなくなっても支障ないという考えが大勢である。

- ・部会をなくすデメリットは一般サポーターの活躍の場が一つ失われるということである。例えば新しくサポーターになった方で事業を企画する段階から関わりたいという意欲のある方はどうすればよいのか。⇒検討調整会に入ってもらふことになると考えられる。

- ・かんきょう市民の会は市からの委託費と自分たちの持ち出しで事業を行っている。他にやりたい事業があるときにかんきょう塾のように会場代や講師謝礼を市から出してもらえるのか。⇒様々な団体の環境保全に係る活動を支援することがセンターの役割であるため、事業・活動の提案は是非してもらいたい。全て実現につなげることは約束できないとしても、実現に向けて調整を行うことが検討調整会の役割ではないか。他の団体・事業者からも提案してもらいたいし、また、庁内の各係・担当とも調整できるように自然保護係、公園緑地課、学生団体、様々な企業を将来的に巻き込んでいきたい。

- ・次年度のイベントはどのように考えていくか。⇒まずは体制を決めてそれに即したプロセスを今後検討していくという順番になる。学習部会を廃止したうえで体制整理する方向で決定したいと考えるが如何か。⇒異議なし。

3. その他・・・

- ・かんきょう市民の会で2月上旬に講演の企画を検討している。東京農工大学の水川先生をお呼びして水循環についての話をしてもらおうと考えている。有機フッ素化合物にまつわる研究もされているとのこと。

■次回開催予定日

令和6年度 第7回府中市環境保全活動センター検討調整会（通算158回）

日 時：令和6年11月21日（木）午後1時30分～

場 所：おもや3階会議室A301

※委員の欠席多数により休会